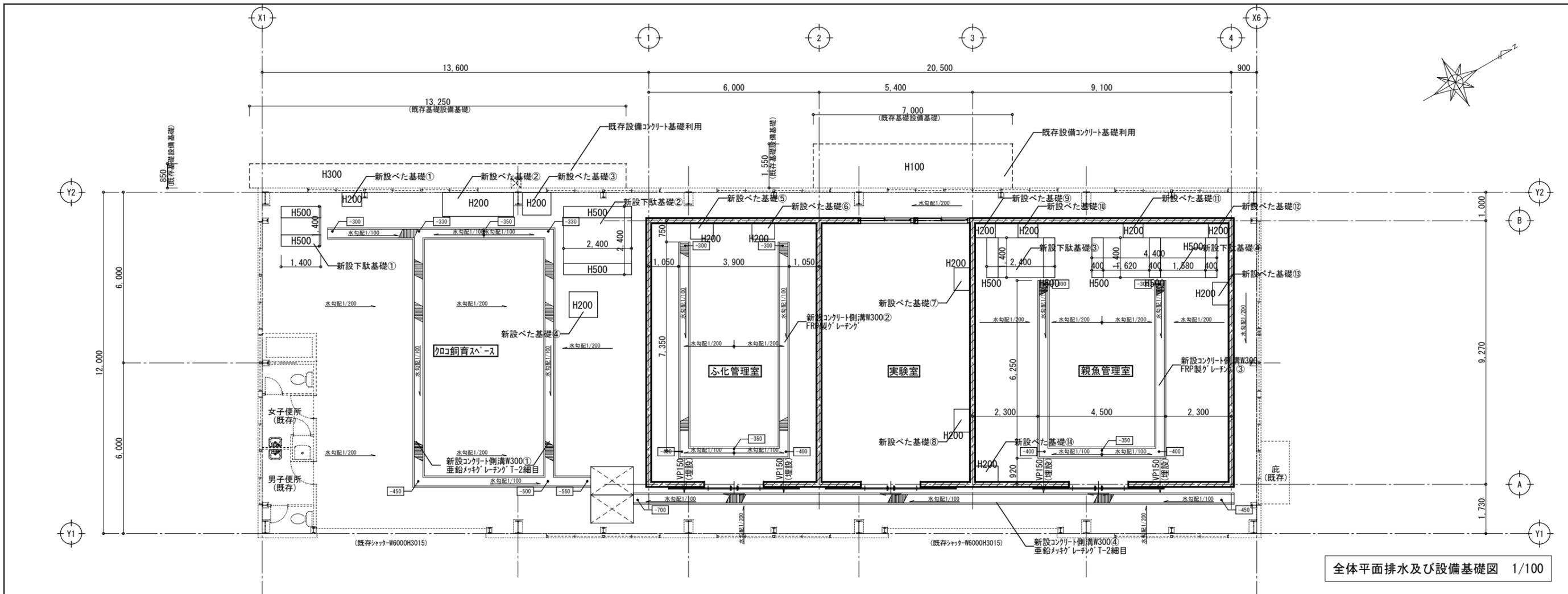
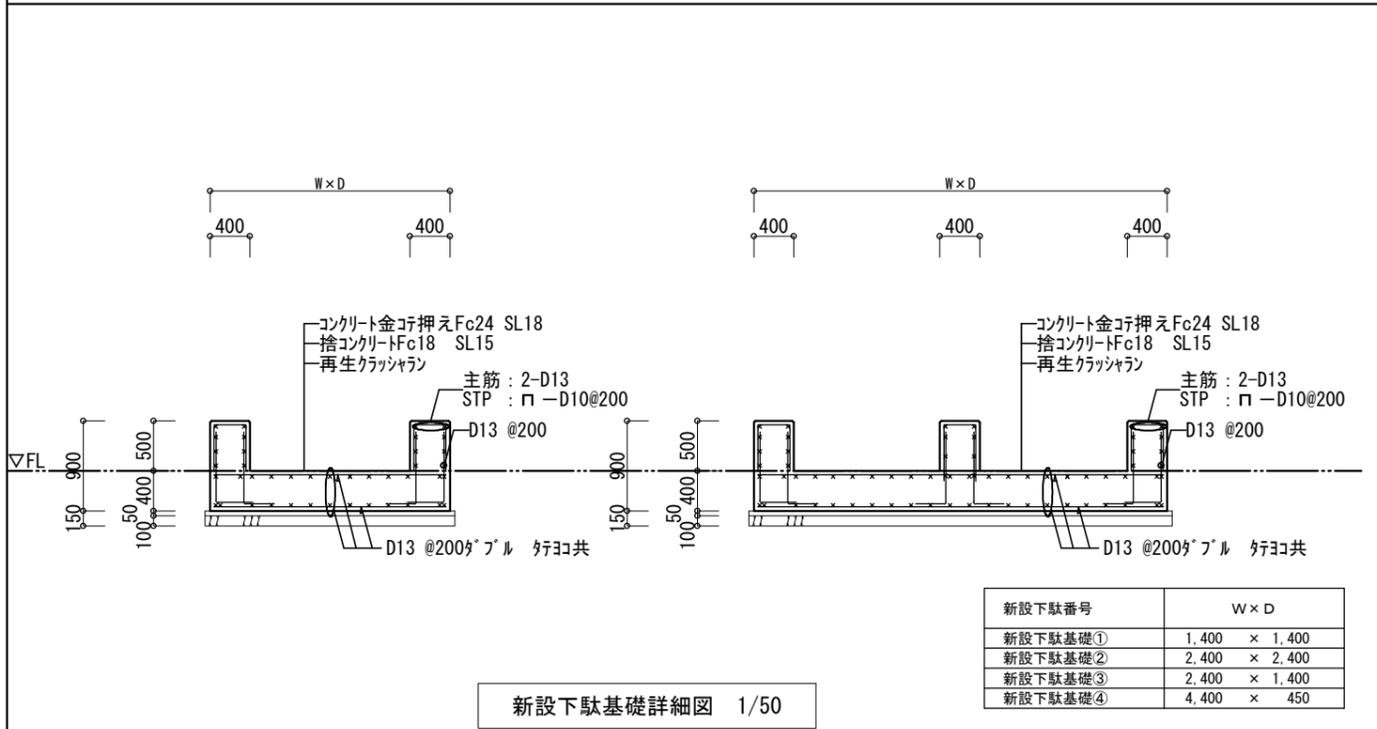


番号	質問等の内容	質問等に対する回答	備考
1	親魚棟、ふ化棟の断面詳細図(AS-05.06、AF-06.07)にて、『土間下改良』の記載がありますが、構造図(SS-01.02、SF-01.02)では、埋戻し土(根切り土、購入土)にて300mm毎に転圧・埋戻しのうえ、地耐力載荷試験により地耐力(長期50KN/m <sup>2</sup> 、短期100KN/m <sup>2</sup> )を確認と記載されております。 土間下改良は無しと考えてよろしいでしょうか。	親魚棟、ふ化棟の土間下改良は無しとする。 なお、地耐力載荷試験は、以下のとおりとする。 ①基礎底板下(長期70KN/m <sup>2</sup> 、短期140KN/m <sup>2</sup> ) 親魚棟1箇所、ふ化棟1か所、計2箇所 ②土間下(長期50KN/m <sup>2</sup> 、短期100KN/m <sup>2</sup> ) 親魚棟1箇所、ふ化棟1か所、計2箇所	
2	親魚棟、ふ化棟内部の側溝の寸法について、意匠図(AS-02、AF-02)には、それぞれ 親魚棟 新設コンクリート側溝①～④ 溝幅600 ふ化棟 新設コンクリート側溝① 溝幅1000、②～④ 溝幅600 が うたわれています。 数量内訳書にはグレーチングW300とW500が記載されております。 これは図面の誤記載と考えてよろしいでしょうか。	AS-02図とAF-02図の新設下駄基礎、新設べた基礎、新設コンクリート側溝の寸法が誤記載です。別添AS-02図とAF-02図のとおり修正する。	
3	親魚棟 共同溝部擁壁の寸法について、親魚棟 既存部分解体撤去図(AS-10)にて新規擁壁の断面寸法が記されておりますが、W=6000、H=8666.7と誤記載と思われます。 現在スケールアップにて対応しておりますが、正しい寸法をご指示ください。	AS-10図の新設擁壁の寸法が誤記載です。別添AS-10図のとおり修正する。	
4	交通誘導員について、案内図・配置図(A-06)にて、交通誘導員(常駐配置)と記載されております。数量内訳書には記載がありませんが、全工期内で誘導員の配置を計上いたしますか。ご指示ください。	交通誘導員は、全工期内で常駐配置とし、当方の積算では共通仮設費に計上しており、直接工事費では計上していません。	
5			
6			
7			
8			

※質問内容に個人に関する情報であって特定の個人を識別し得る記述がある場合及び法人等の財産権等を侵害するおそれのある記述がある場合には、当該箇所を伏せ又は当該質問を掲載していません。

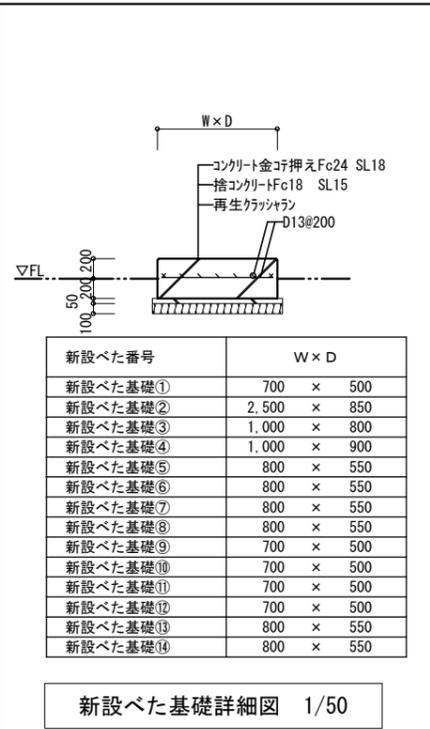


全体平面排水及び設備基礎図 1/100



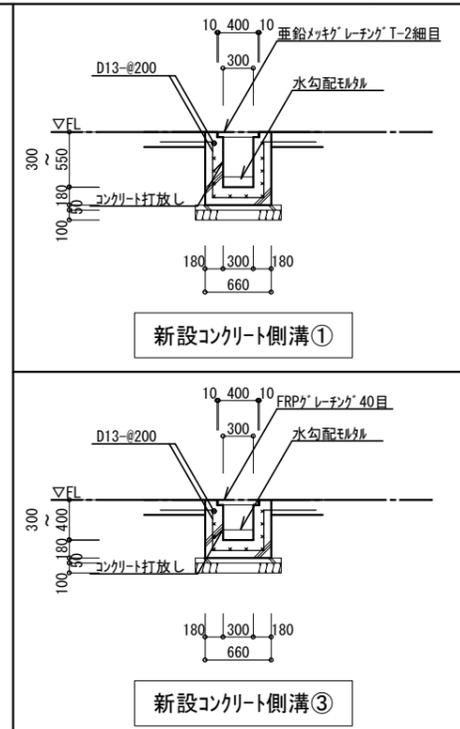
新設下駄基礎詳細図 1/50

新設下駄番号	W × D
新設下駄基礎①	1,400 × 1,400
新設下駄基礎②	2,400 × 2,400
新設下駄基礎③	2,400 × 1,400
新設下駄基礎④	4,400 × 450



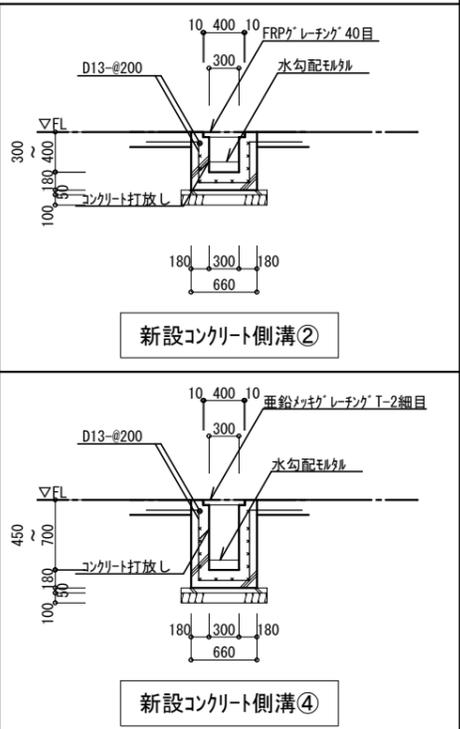
新設べた基礎詳細図 1/50

新設べた番号	W × D
新設べた基礎①	700 × 500
新設べた基礎②	2,500 × 850
新設べた基礎③	1,000 × 800
新設べた基礎④	1,000 × 900
新設べた基礎⑤	800 × 550
新設べた基礎⑥	800 × 550
新設べた基礎⑦	800 × 550
新設べた基礎⑧	800 × 550
新設べた基礎⑨	700 × 500
新設べた基礎⑩	700 × 500
新設べた基礎⑪	700 × 500
新設べた基礎⑫	700 × 500
新設べた基礎⑬	800 × 550
新設べた基礎⑭	800 × 550



新設コンクリート側溝①

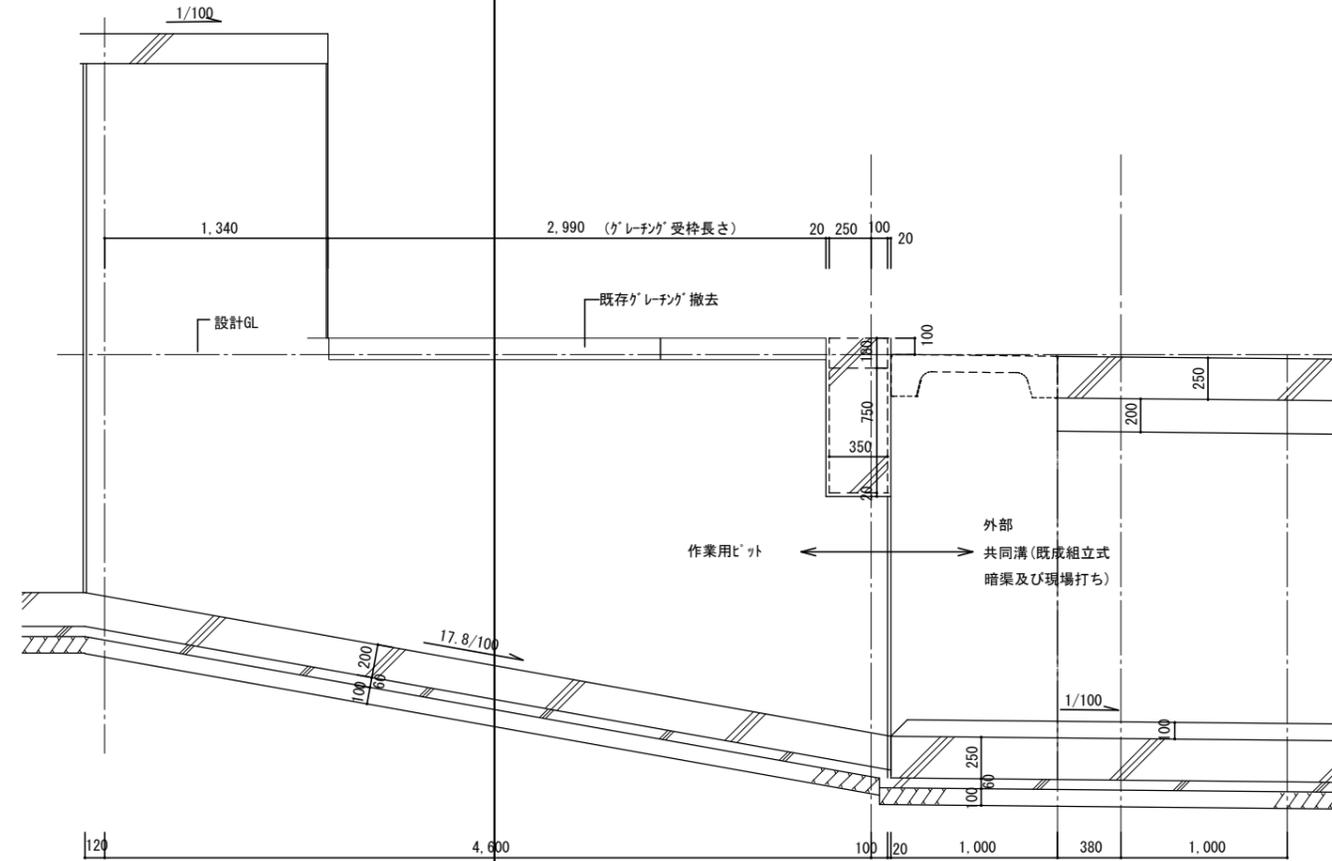
新設コンクリート側溝③



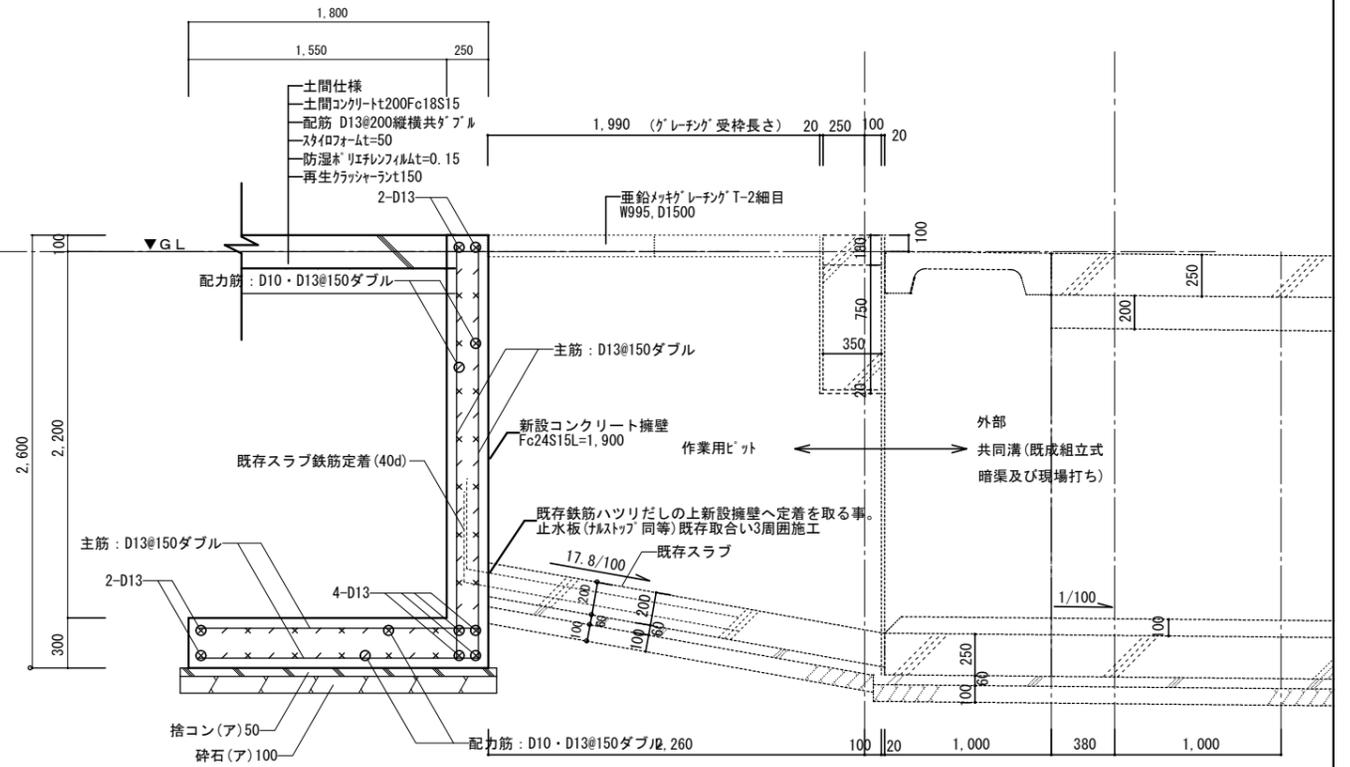
新設コンクリート側溝②

新設コンクリート側溝④

コンクリート水槽全面撤去



Ⓔ ~ Ⓔ 断面詳細図 S=1/30



Ⓔ ~ Ⓔ 断面詳細図 S=1/30

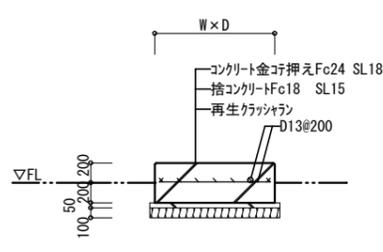
※今回撤去水槽は既存建物の前施工である為、施工時は現状確認の上、水槽撤去により既存建屋基礎に影響ある場合は監督員と協議の上、一部存置させ、その地中障害位置の記録を残す事。  
 ※新設擁壁に排水開口を設置する場合は図示の縦筋の本数を満足させ施工する事。

一級建築士事務所 (株) VAN設計  
 一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-10047号  
 一級建築士 大臣登録 第379381号  
 管理建築士 今村 努

国立研究開発法人水産研究・教育機構  
 南伊豆庁舎親魚棟外建築改修工事

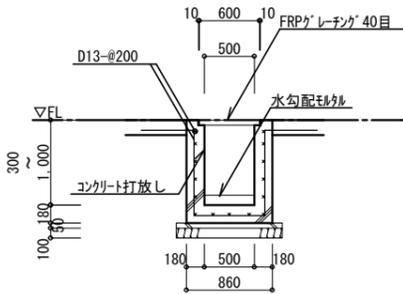
親魚棟 既存部分解体撤去図 4

SCALE S=1/30

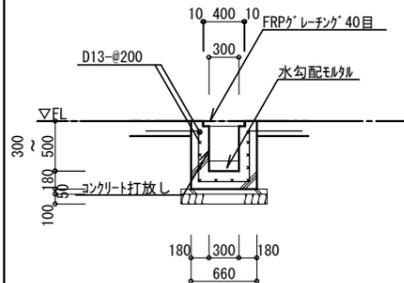


新設べた番号	W×D
新設べた基礎①	700 × 500
新設べた基礎②	3,800 × 900
新設べた基礎③	5,800 × 3,500
新設べた基礎④	800 × 450
新設べた基礎⑤	800 × 450
新設べた基礎⑥	800 × 450
新設べた基礎⑦	800 × 450
新設べた基礎⑧	800 × 450
新設べた基礎⑨	800 × 450
新設べた基礎⑩	800 × 450
新設べた基礎⑪	800 × 450

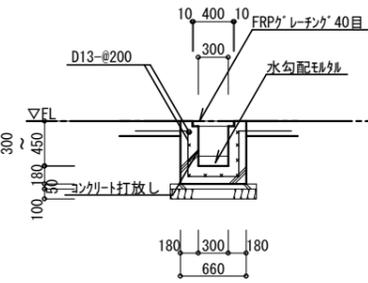
新設べた基礎詳細図 1/50



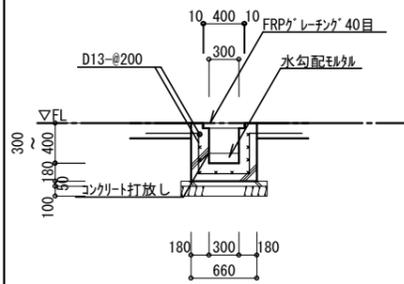
新設コンクリート側溝①



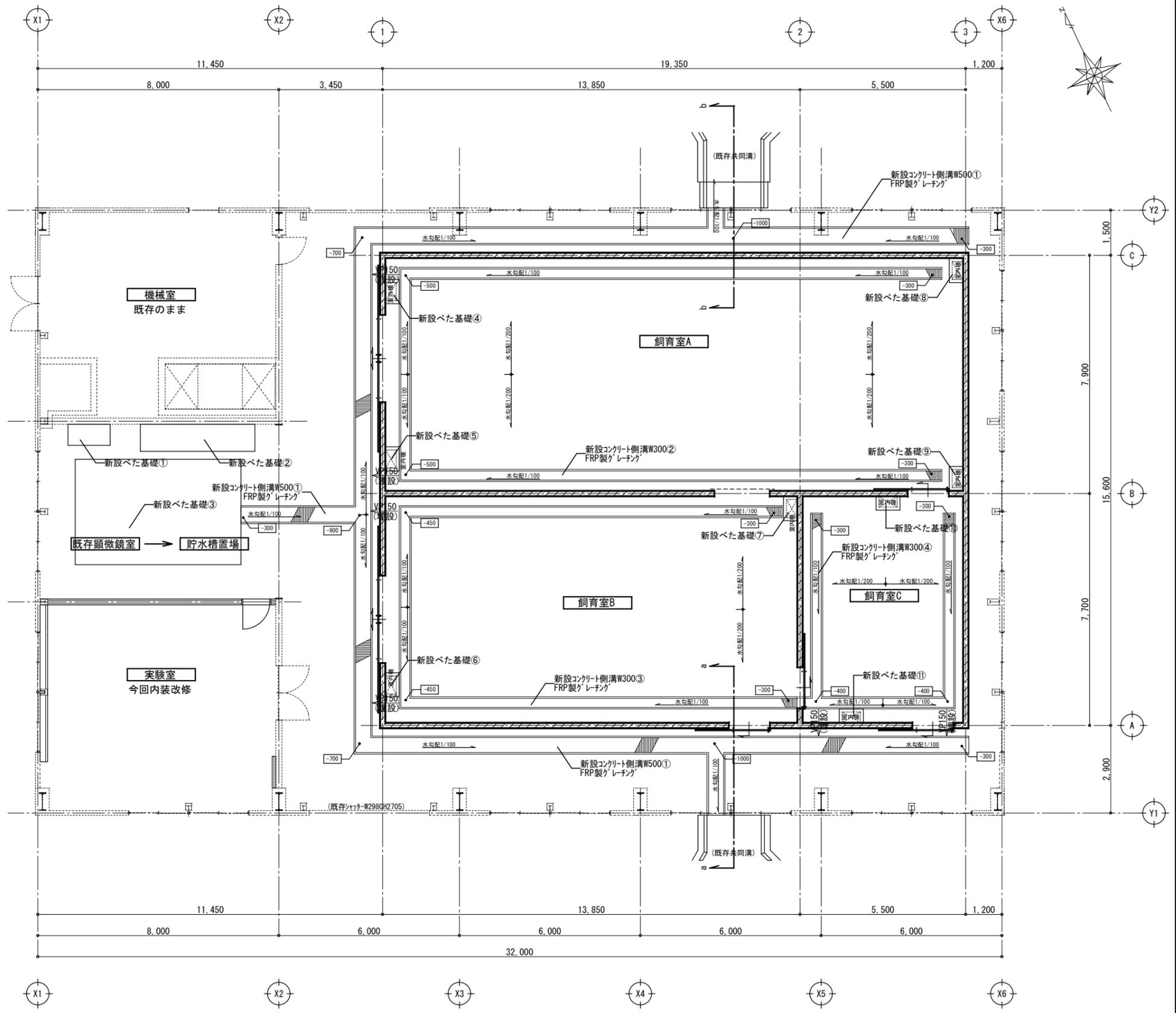
新設コンクリート側溝②



新設コンクリート側溝③



新設コンクリート側溝④



一級建築士事務所 (株) VAN設計

一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-10047号  
 一級建築士 大臣登録 第379381号  
 管理建築士 今村 努

国立研究開発法人水産研究・教育機構  
 南伊豆庁舎親魚棟外建築改修工事